



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 小糸製作所
 コード番号 7276 URL <http://www.koito.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三原 弘志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山本 英男
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3443-7111

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	187,405	1.0	17,295	27.3	16,859	15.5	10,002	181.2
28年3月期第1四半期	185,546	20.0	13,584	33.2	14,600	37.7	3,557	△38.8

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △6,783百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 2,707百万円 (△63.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	62.25	62.22
28年3月期第1四半期	22.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	556,619	317,746	50.0	1,731.54
28年3月期	588,683	329,671	48.6	1,780.94

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 278,247百万円 28年3月期 286,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	16.00	—	20.00	36.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	380,000	△0.9	36,000	11.1	36,000	9.5	20,000	41.1
通期	780,000	△4.1	78,000	△5.1	79,000	△6.3	47,000	1.5
								292.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	160,789,436 株	28年3月期	160,789,436 株
29年3月期1Q	95,649 株	28年3月期	95,649 株
29年3月期1Q	160,693,787 株	28年3月期1Q	160,694,003 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

(参考) 平成29年3月期の個別業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	137,000	9.0	9,000	4.8	20,000	5.6	14,000	2.5	87	12
通期	287,000	6.0	22,000	2.1	37,000	0.1	26,000	19.3	161	80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第1 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の低迷や公共投資の減少により低調に推移いたしました。世界においては、米国景気が堅調に推移するものの、中国の成長鈍化や南米・ロシアの景気後退、加えて英国のEU離脱に向けた金融市場の混乱、中東リスク等もあり、総じて減速基調で推移いたしました。

自動車産業におきましては、国内は、軽自動車の販売不振の影響等により、生産台数は前年同期に比べ減少いたしました。海外では、米国・中国・西欧にて増産となったことから、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は、新規受注の拡大、自動車ランプのLED化進展等に伴い主力の自動車照明関連事業が大幅に増加したものの、円高の影響により、前年同期比1.0%増の1,874億円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

【日本】

自動車生産台数は減少したものの、自動車ランプのLED化進展等により、売上高は前年同期比7.3%増の674億円となりました。

【北米】

自動車需要の伸長に伴う生産増加や新規受注の拡大、LED化の進展等により現地通貨ベースでは大幅増収となりましたが、円高の影響により、売上高は前年同期比1.8%増の441億円となりました。

【中国】

自動車生産台数の増加や新規受注拡大により生産数量は増加したものの、円高の影響により、売上高は前年同期比7.9%減の494億円となりました。

【アジア】

ASEAN地域の自動車需要回復に伴う生産増加、タイやインドネシアにおける新規受注の拡大、二輪車ランプのLED化等により、売上高は前年同期比4.0%増の180億円となりました。

【欧州】

域内自動車生産は堅調に推移、新規受注の拡大、ランプのLED化等により、売上高は前年同期比0.2%増の83億円となりました。

利益につきましては、日本・北米・アジア・欧州のセグメントにおいて増収となるなか、改善合理化を推進したこと等により、営業利益は前年同期比27.3%増の172億円、経常利益は前年同期比15.5%増の168億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前期に連結子会社KIホールディングス株式会社における航空機シート関連の損害賠償に係る損失を計上したこともあり、前年同期比181.2%増の100億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

ー1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第1四半期末の資産の残高は、受取手形及び売掛金など流動資産の減に加え、為替換算の影響等もあり、前期末に比べ320億円減少の5,566億円となりました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金の減等により、前期末に比べ201億円減少の2,388億円となりました。

純資産の残高は、利益剰余金は増加したものの、為替換算調整勘定が減少したこと等から、前期末に比べ119億円減少の3,177億円となりました。

ー2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益167億円、減価償却費70億円を主体に385億円となり、法人税等を支払った結果、323億円の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資78億円等を実施した結果、82億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済101億円、配当金等の支払い37億円を実施した結果、138億円の支出となりました。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ82億円増加の401億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、国内では自動車生産台数が減少するなか新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展等により増収、海外では北米や中国を主体に新規受注拡大やLED化進展等は見込まれるものの円高の影響により減収となり、連結全体においては前期比減収の予想であります。

利益につきましては、国内の増収効果はありますが、海外における為替換算の影響等により、営業利益、経常利益は前期比で減益の見通しであります。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に連結子会社K I ホールディングス株式会社における航空機シート関連の損害賠償に係る損失を計上したこと等により、前期比増益の予想であります。

なお、平成28年4月26日の決算短信にて公表いたしました平成29年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想(連結・個別)は以下の通り修正しております。

第2四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	375,000	33,000	34,000	19,000	118 24
今回予想(B)	380,000	36,000	36,000	20,000	124 46
増減額(B-A)	5,000	3,000	2,000	1,000	—
増減率(%)	1.3	9.1	5.9	5.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	383,310	32,399	32,882	14,175	88 21

(参考) 第2四半期累計期間 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	130,000	8,000	18,000	13,000	80 90
今回予想(B)	137,000	9,000	20,000	14,000	87 12
増減額(B-A)	7,000	1,000	2,000	1,000	—
増減率(%)	5.4	12.5	11.1	7.7	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	125,721	8,588	18,936	13,663	85 03

平成29年3月期 通期(平成28年4月1日～平成29年3月31日) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	790,000	77,000	79,000	47,000	292 48
今回予想(B)	780,000	78,000	79,000	47,000	292 48
増減額(B-A)	△10,000	1,000	—	—	—
増減率(%)	△1.3	1.3	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	813,477	82,218	84,296	46,303	288 15

(参考) 平成29年3月期 通期 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	280,000	21,000	35,000	25,000	155 58
今回予想(B)	287,000	22,000	37,000	26,000	161 80
増減額(B-A)	7,000	1,000	2,000	1,000	—
増減率(%)	2.5	4.8	5.7	4.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	270,857	21,546	36,979	21,802	135 68

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

一部の国内連結子会社においては、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	161,762	169,497
受取手形及び売掛金	126,393	103,788
電子記録債権	9,361	9,444
有価証券	182	—
たな卸資産	64,180	61,415
繰延税金資産	4,081	4,028
その他	29,477	28,474
貸倒引当金	△876	△894
流動資産合計	394,562	375,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,346	37,336
機械装置及び運搬具(純額)	56,804	53,058
工具、器具及び備品(純額)	17,959	17,372
土地	13,749	13,467
建設仮勘定	10,439	8,831
有形固定資産合計	139,300	130,067
無形固定資産	1,997	1,839
投資その他の資産		
投資有価証券	45,988	40,716
破産更生債権等	60	60
繰延税金資産	5,221	6,712
その他	1,741	1,659
貸倒引当金	△188	△189
投資その他の資産合計	52,822	48,959
固定資産合計	194,121	180,865
資産合計	588,683	556,619

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	128,357	116,598
短期借入金	28,073	19,641
未払費用	20,138	23,768
未払法人税等	9,398	7,022
賞与引当金	4,820	5,289
製品保証引当金	2,824	2,824
その他	11,180	10,423
流動負債合計	204,793	185,567
固定負債		
長期借入金	13,176	12,617
繰延税金負債	6,410	5,919
役員退職慰労引当金	414	431
製品保証引当金	4,726	4,726
環境対策引当金	198	198
退職給付に係る負債	27,621	27,521
その他	1,672	1,890
固定負債合計	54,219	53,304
負債合計	259,012	238,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	17,108	17,108
利益剰余金	228,490	235,279
自己株式	△86	△86
株主資本合計	259,782	266,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,123	15,744
為替換算調整勘定	7,712	△3,596
退職給付に係る調整累計額	△432	△472
その他の包括利益累計額合計	26,403	11,675
新株予約権	291	291
非支配株主持分	43,193	39,207
純資産合計	329,671	317,746
負債純資産合計	588,683	556,619

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	185,546	187,405
売上原価	157,475	155,381
売上総利益	28,071	32,024
販売費及び一般管理費	14,486	14,728
営業利益	13,584	17,295
営業外収益		
受取利息	660	145
受取配当金	548	590
持分法による投資利益	1	2
その他	418	365
営業外収益合計	1,628	1,103
営業外費用		
支払利息	194	216
為替差損	57	1,145
航空事業安全対策費	141	—
その他	218	177
営業外費用合計	612	1,539
経常利益	14,600	16,859
特別利益		
固定資産売却益	33	6
投資有価証券売却益	157	—
特別利益合計	190	6
特別損失		
固定資産除売却損	163	93
投資有価証券評価損	—	32
損害賠償引当金繰入額	9,968	—
特別損失合計	10,132	125
税金等調整前四半期純利益	4,658	16,739
法人税、住民税及び事業税	3,179	4,697
法人税等調整額	1,347	408
法人税等合計	4,526	5,105
四半期純利益	132	11,633
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,557	10,002
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,424	1,630

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	718	△3,457
為替換算調整勘定	2,009	△14,917
退職給付に係る調整額	△153	△42
その他の包括利益合計	2,574	△18,417
四半期包括利益	2,707	△6,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,605	△4,724
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,898	△2,058

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,658	16,739
減価償却費	6,837	7,036
のれん償却額	54	—
持分法による投資損益(△は益)	△1	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△220	88
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△294	△121
賞与引当金の増減額(△は減少)	481	472
受取利息及び受取配当金	△1,208	△735
支払利息	194	216
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△157	—
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	—	32
有形固定資産除売却損益(△は益)	130	87
損害賠償引当金繰入額	9,968	—
売上債権の増減額(△は増加)	11,442	16,005
たな卸資産の増減額(△は増加)	△148	△1,539
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,162	△1,070
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,310	△4,246
未払費用の増減額(△は減少)	4,501	4,892
その他	2,946	662
小計	31,035	38,516
利息及び配当金の受取額	1,208	735
利息の支払額	△194	△216
損害賠償金の支払額	△397	—
法人税等の支払額	△7,812	△6,698
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,840	32,337
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△33,944	△30,011
定期預金の払戻による収入	19,486	29,789
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△44	△42
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	10,800	0
有形固定資産の取得による支出	△11,017	△7,873
有形固定資産の売却・除却による収支(△は支出)	△9	△15
貸付けによる支出	△5	△2
貸付金の回収による収入	3	1
その他	240	△114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,490	△8,267
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,772	△10,849
長期借入れによる収入	255	875
長期借入金の返済による支出	△44	△152
自己株式の取得による支出	△0	—
親会社による配当金の支払額	△3,754	△2,951
非支配株主への配当金の支払額	△752	△759
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,067	△13,836
現金及び現金同等物に係る換算差額	333	△1,993
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	616	8,241
現金及び現金同等物の期首残高	33,082	31,886
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,698	40,127

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	62,817	43,362	53,666	17,374	8,325	185,546	—	185,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,377	2	1,245	1,811	550	35,987	(35,987)	—
計	95,194	43,364	54,912	19,186	8,876	221,534	(35,987)	185,546
セグメント利益	5,718	3,005	3,469	1,422	760	14,376	(791)	13,584

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△791百万円には、セグメント間取引消去346百万円及び配賦不能営業費用△1,137百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) 北米 …米国、メキシコ

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド

(3) 欧州 …ベルギー、英国、チェコ

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	67,421	44,149	49,423	18,068	8,343	187,405	—	187,405
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,965	2	1,317	1,736	423	39,445	(39,445)	—
計	103,387	44,151	50,741	19,805	8,766	226,851	(39,445)	187,405
セグメント利益	7,681	4,087	2,963	2,243	1,217	18,194	(898)	17,295

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△898百万円には、セグメント間取引消去456百万円及び配賦不能営業費用△1,355百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1)北米 …米国、メキシコ

(2)アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド

(3)欧州 …英国、チェコ

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。